

## 2. 「中学コート自由化運動」 ——生徒の自主的な活動の試みとして——

1994年度生徒部

齊	藤	真	子	飯	島	幸	久
川	田	基	生	山	田	孝	
大	口	悦	子	高	比	幸	治
横	地		武	持	山	育	央

**【抄録】** 本校中学生徒会では、1991年から1993年にかけて学生（黒）カバン自由化に向けて活動し、現在カバンは実用的なものという規定付きで自由となっている。このことにより、生徒は自分達が意見を出し、生徒会に計れば校則に違反するのではなく、正当な形で認めてもらえることを学んだ。一部に課題が残るものの足かけ3年にわたる生徒会の活動は実の多いものだと思われる。

さて今回は1993年から提案され、1995年前期生徒総会で成立を見た「中学コート自由化」運動について、その経過と課題に対する生徒、保護者、教諭の意向をまとめ生徒の自主的な活動について考える一助としたいと思う。

**【キーワード】** コート自由化委員会、アンケート調査、現状調査、自由化試行、生徒の自主活動、規定・指定

### 1 1993年度の経過

- 10/14 後期生徒会立合演説会  
後期生徒会はコート自由化特別委員会を設立してコート自由化に向けて活動することになる。(委員は公募とする)
- 11/27 委員が集まり、委員長、副委員長、書記を選出(総勢10名、生徒会役員はアドバイザーとして参加)
- 12/9 委員会の設立目的決定  
＜男子はコートがなく、女子の指定コートは不便な点が多いので、男女共コートの着用を自由化したい＞
- 1/25 生徒議会にて、コート自由化委員会承認
- 1/27 生徒総会にて、コート自由化委員会承認
- 1/31 コートについてのアンケート実施

#### ＜調査結果＞

=男子=

- (1) 男子のコート着用自由化について  
賛成86%、反対11%、保留3%。
- (2) 参考になった意見  
(制服の中で調節することについて)
  - ・調節のため着ているものを脱ぐのが面倒
  - ・着ぶくれして動きにくい、限度がある。
  - ・規定コートでもいいからほしい。

=女子=

- (1) 指定コートの着用状況  
着ている 11%

- 時々着ている 9%
- 着ていない 80%
- (2) コートが自由化になることについて  
賛成75%、反対10%、保留15%
- (3) 指定コートを着用、購入しない理由。
  - ・現在の生徒の美的感覚に合わない。
  - ・コートの丈、重さ、布地、薄さなど不都合。
  - ・一般のコートに比べ割高感がある。
  - ・着ている人が少ない。
- (4) 参考になった意見
  - ・コートの置き場所をどうするのか。
  - ・自由化ではなく、新しいデザインの指定コートにしてほしい。
  - ・1、2年が現時点で違反コートを着ているから自由化が実現しない。

アンケートの結果を見ると、生徒達の中に指定コートに対する不満や不都合を指摘する声が多いことがわかる。丈については長すぎるという点、布地が薄くて着ていても寒いという点、ポケットが小さい、裏ボタンがはずしにくい等の意見もあった。さらにはコート自由化とは関係ないと思われるが、置き場所がないという意見も少なからずあった。

これらの不満については指定コートを一部手直ししてゆくことで解決できそうではある。しかし、指定コートを着てこない理由の最も多いものは、美的感覚

に合わない。着るのが恥かしいというのである。要するに寒さを防ぐという役目よりも、ファッションの一部としてのコートを考えているのである。

この年は暖寒だったので現状調査をしても結果が出ず、委員会活動も進まず、春とともにコート自由化については議論が立ち消えとなってしまった。

問題として残されたこととしては以下のことが考えられる。

- ①コート自由化は後期生徒会で提案されるため、中学3年生が自分達には恩恵がない問題として関心が低い。
- ②コートに関する意識が、教官と生徒の間で異なっている。
- ③生徒の自主制ということで生徒会に活動させるのはよいが、教官あるいは保護者の考えが後に後についてゆく結果となっていないか。もっと言えば自由化委員会を認める時点で教官側はすでにコート自由化について、どのようなことをクリアすれば認めるつもりなのか、何年を目度として活動させるのかを考えておくべきではないのか。今回は暖寒のために生徒全体のコートへの執着がなかったため決断を先送りできたが、来年度はどうするか方針を立て活動させていきたい。

## 2 1994年度の経過

### (1) 活動方針、活動計画。

後期生徒会役員の公約に盛り込まれたのを契機にコート自由化委員会の発足。今回は公募ではなく、クラスから男女1名を選出。加えて生徒会役員の代表2名が参加。学校指定コートの問題点を以下の様にまとめた。

- ・薄手のため暖かくない。
- ・同じデザイン指定コートは他人のものと間違えやすい。
- ・コートの丈が長すぎる。
- ・指定コートの購入者が少ない。

さらに、コート自由化にする利点としては

- ・体形、体調、個性に合ったものが選択できる。
- ・盗難、紛失、間違いが起こらない。

ということを揚げた。

活動計画としては、次に示す5つのことを実施し会議でコート自由化をアピールすることとした。

- ①生徒の意識調査
- ②コート着用現状調査
- ③コート自由化試行  
——後の会議で3日間ということになった——
- ④保護者の意見調査

### ⑤コート自由化試行の事後アンケートの実施

### (2) 生徒部の意向と審議予定

生徒部の考えとして、次の2点を示すことにした。

- ①数年来の流れ、生徒の自主的活動の保障の点から自由化運動は推進させる。
- ②指導部の意向、試行での実態を見てその後の活動方針を再検討する。進める場合「原則」を付することを前提とする。

<予定> (コート自由化試行後)

- ①事後アンケートの取りまとめ [自由化委員会] (へ)
- ①自由化の方向の合意 [生徒部]
- ↓
- ②教官会議で自由化の方向示唆 [生徒部]
- ②教官・親・実態調査の結果を踏まえて  
指導方針を決定 [教官会議]
- ↓
- ③自由化委員会への提言 [生徒部]
- ↓
- ④生徒会議提出用の原案作成 [自由化委員会]
- [生徒部]
- ↓
- ⑤生徒会議での審議、裁決
- ↓
- ⑥教官会議での審議、補正、裁決

以上のことを生徒部、コート自由化委員と打ち合わせをした後、毎週月曜日を委員会開催日と決め活動を開始した。

## 3 コート自由化委員会の活動

### ・12/12 第2回委員会

生徒の意識調査のためのアンケートの作成  
——実際に自由になると想定したものとなるように心掛ける——

<アンケート項目の検討>

- |    |   |
|----|---|
| 男子 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・コートが必要か。</li> <li>・コートが自由化になったら着てくるか。</li> <li>・自由化になったら皆が着てくると思うか。</li> </ul>  |
| 女子 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定コートを持っているか。</li> <li>・指定コートを着て登下校しているか。</li> <li>・自由化にならなくても指定コートは着てくるつもりはないのか。</li> <li>・自由なコートを着てきたいか。</li> <li>・もし自由化になったら、新たにコートを購入しようと思うか。</li> <li>・コートを着てもよい日を設定したら着て</li> </ul> |

きますか。

アンケート用紙は、男女別々とする事とした。

・1/13 第3回委員会

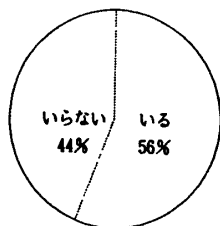
アンケートの集計とまとめ

現状調査を行うことの議論 (賛成多数可決)

<アンケート調査結果>

<男子>

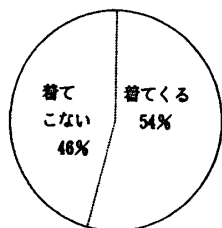
1. コートは必要か



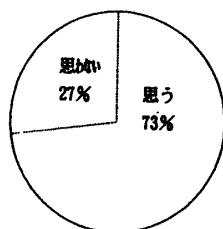
<いる>の理由  
寒いから

<いない>の理由  
それほど寒くないから

2. もしコートが自由化になったら、着てくるか。

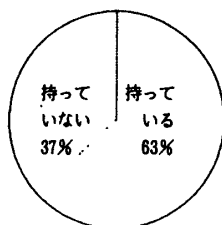


3. 自由化になったら、まわりの人は、着てくると思うか。

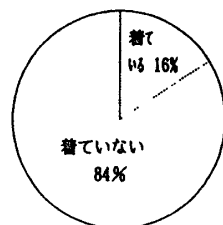


<女子>

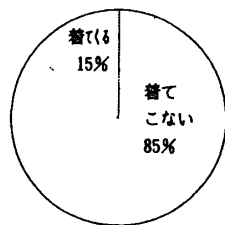
1. 指定コートを持っていますか。



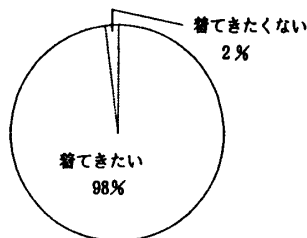
2. 「持っている」と答えた人は、それを着ていますか。



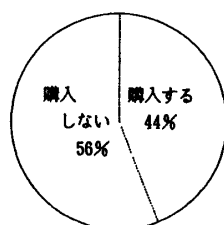
3. 自由化にならなくても指定コートを着てこないか。



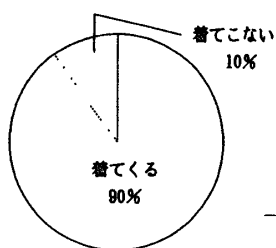
4. 自由なコートを着てきたいか。



5. 自由化になったら、新しくコートを購入するか。



6. コートを着てきてもしよい日があったら、着てくるか。



<アンケートの結果について自由化委員感想>

- ・思っていたよりも、「コートを着たい」という男子が少なかったのは予想外だった。
- ・指定コートを持っているのに着てこない人が多い一方で「コートを着たいという人は98%あることに驚くとともに、自由化を実現させたいという気持ちが強くなった。

<現状調査について>

次の様に実施することに決定

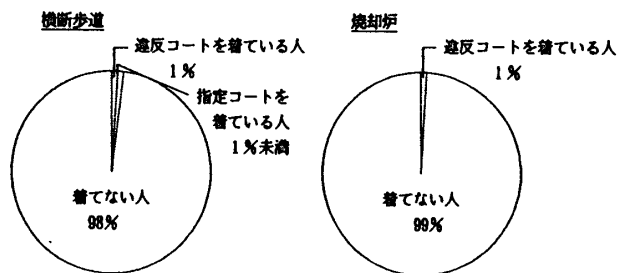
- ・場所—焼却炉付近、北門横断歩道付近。
- ・日時—1月19日(木)～1月21日(土)3日間  
8:00～8:25

1/24 第4回委員会

現状調査の集計のまとめと反省

コート自由化試行の検討 (賛成多数可決)

<現状調査結果>



<反省・意見>

- ・思っていたよりも違反のコートを着ている人が少ないから、自由化になってもいいのではないかと思う。
- ・指定コートを持っている割に着ている人は、アンケートの結果のとおり少なかった。
- ・途中でコートを脱いでしまう人がいる。
- ・この調査の当番をさぼる人がいるのが残念だ。

<コート自由化試行について>

委員会で教官会議で承認してもらうべく原稿を作成し可決されれば、1月27日(金)～1月30日(土)の3日間実施することとした。

『コート自由化委員会から』(会議提案内容)

私達コート自由化委員会は「中学コート自由化」を目ざして活動をしています。先日3日間朝8.00～8.25まで、女子指定コート、違反コートを着ている人数、及びコートを着ていない人の人数を調査しました。その結果、1日目141人中1人が違反コート、その他は何も着ていない。2日目160人中1人が指定コート、

4人が違反コート、その他は着ていない。3日目152人全員が着ていませんでした。この3日の総計443人中で指定コートを着ている人1人、違反コートを着ていた人5人、その他の人はコートを着ていないということです。これについて、コート自由化委員会では、何日か自由にコートを着てもよい日を決め、先日実施した現状調査の結果と照らし合わせてみたいという意見が出ました。実際にどれくらいの生徒が、コートを必要としているのかを調べるためです。この提案を先生方に承認して頂きたいのです。尚、この提案が承認

して頂いた場合、コートの管理は生徒自身で責任を持つ、色・形などの規定はしないこととします。理由として、どんなコートを着てくるのかを知って、自由化したときの規定作成の参考としたい。また、コート自由化の悪い点も考えたいと思うのです。よろしくお願い致します。

上記の提案は教官会議で、あくまでも試行ということとして承認され、保護者には1月30日付で次の様なお知らせをした。

平成7年1月30日

保護者の皆様

名古屋大学教育学部附属中学校

コート自由化試行についてのお知らせ

寒さ厳しき折り、保護者の皆様にはますますご清勝のことと存じます。これまで、コートの自由化について、生徒を含めたコート自由化委員会を組織し検討をしてまいりました。一方で指定コートの購入者が激減し、自由化がなされなければコートは着用しないで過ごす傾向が強まっています。

今回、生徒の自主的活動を活発にするという見地も含めて、試行としてコートを自由に着てもよい日を設定し、本格実施の判断の一助にしたいと思います。

生徒には下記のように指導をいたしますが、御家庭での御協力もよろしくお願い致します。

記

- 1 試行の期間 1月31日(火)～2月2日(木)の3日間
- 2 注意していただきたいこと
  - ・ コートを着てくることは強制ではありません。
  - ・ 自由とはいえ学校に着てくるものとしての節度に配慮をお願いします。
  - ・ あくまでも試行です。このことを理由に新たにコートを購入する必要はありません。
- 3 コート自由化について何かご意見があれば下にご記入の上、生徒を通して各クラス担任まで御提出ください。

キリトリ

(コート自由化)

\_\_\_\_年 \_\_\_\_組 氏名 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

・ 1 / 30 第 5 回委員会

コート自由化試行の打合せ

<目的>

本当にコートを必要をしているか調査する。

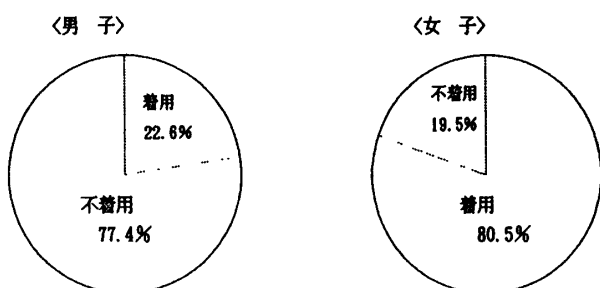
<規定なしの自由にするについて>

- ①どんなコートを着てくるかを知りたい
- ②自由なコートの悪い点を知りたい
- ③自由化になったときの条件規定を考える

<現状調査について>

図書館から登校してくる生徒のコート着用の様子を観察し、男女別に集計する(学年は考えない)。色・柄・形など気になったものがあればメモしておくこととした。

<現状調査結果> (3日間の総数)



<感想>

- ・男子は自由でも着ていなかった人が多い。
- ・色・形について華美なものはほとんどなかった。

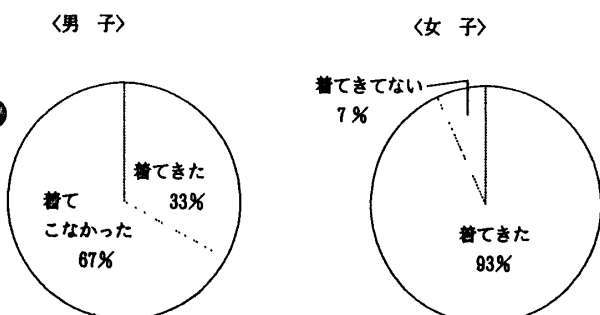
・ 2 / 7 第 6 回委員会

コート自由化試行事後アンケートの集計

規定案の作成 (その1)

<事後アンケートの結果>

1. コートを着てきたか。



2. 「自由なコートを着てくる」という事について、あなたは、どう思いましたか。

- ①校風を乱用しない限りいいと思う。
- ②コートがどれだけ大切がよく分かった。
- ③手持ちのもので充分だからよい。

3. 周囲の様子はどうか。

①中学生らしいコートを着ていたと思う。

4. 規定についてどう思いますか。

- ①ジャンパー類はだめ。
- ②形の規定は作らなくてもよい。
- ③登下校中以外は着ない。
- ④中学生らしいもの。

※2～4の意見は、参考になったものを取りあげました。

・ 2 / 14 第 7 回委員会

規定案の作成 (その2)

議会、クラスから出ると予想される質問を考え、それに対する回答を検討する。

<規定案>

- ・地味な色\*で実用的なコートであること。
- ・誰が見ても華美でなく、中学生らしいもの。

※地味な色の例としては

黒・紺・グレー・茶・深緑があげられた。

派手な色の例としては紫・黄・青・水色・白・ピンク・赤・蛍光色・チェック柄があげられた。

<質問に対する回答の検討>

- ①「置く場所」→教室あるいは椅子の後に置く  
→各自で袋等用意する
- ②「着用期間」→寒い時  
→登下校時のみ(教室内は脱ぐ)
- ③「何故、地味な色でなくてはいけないのか」  
→学校の品位を落とさないため
- ④「何故、派手で高価なものはいけないのか」  
→他人が見て自分も欲しいという気持ちを持たせるから
- ⑤「何故、コートでなくてはいけないのか」  
(ジャンパー類のことを想定)  
→派手なものが多い  
→丈の短いものが多い  
→コート自由化だから  
→規定が増えてしまうから  
→制服の上に着ることから中学生らしさがなくなる

結果的には「何故、中学生らしいものでなければならぬのか」という意見も出、逆に小学生らしいもの大人っぽいものとは何かを考えることにもなった。このことを生徒議会で計ったところ「チェック柄」と「白とベージュ」について修正意見が出され、以下の様なく規定が可決、その後、教官会議にも議題として取り上げられ、多数の意見、質問が出されたが最終的には承認されることとなった。

## コート自由化規定

「①地味な色で、実用的で、②中学生らしいコート」

①地味な色とは、無地で、白・ベージュ・黒・紺・グレー・深緑

②中学生らしいとは、だれが見ても中学生らしいということ

時期 ー寒い時期（12月～3月）  
 場所・時間ー登下校時のみ（構内での着用不可）  
 置き場所 ー教室の後ろのコート掛け  
 袋に入れて机の横、椅子に掛ける

この時点で、来年度のコート自由化の実現が見えたという思いがする。（新年度前期生徒総会、PTA 役員会ー5月ーで承認されれば、すべての議決をしたことになる）。今年度内には間に合わなかったが3年生にとっても満足のいく結果が出たのではないだろうか。

## 4 生徒の感想から

「● 今、コート自由化が、教官会議に通った事を聞き、とてもうれしいです。コート自由化委員になって、約一年半が経ち、いろいろな事が思い出されます。

私は、中2で、委員長になりました。その時は、本当に何をやらたらよいか分からず生徒会の先輩方に、助けていただいていたばかりで。その時の先輩方のしっかりした態度・行動には本当に驚かされました。これは、うれしい驚きだったんですが、悲しい驚きも、正直いってありました。3年の先輩からの、反対意見です。その理由は、とうせ今から自由化運動をしても、私達の時には、自由にならない。だったら、これからの中学生も、3年間くらい、我慢するべき、という事からでした。当時中2の私は、なんでそんな事言うんだろ。別に先輩達は、高校になったら自由なんだし、いいじゃない。と思ってました。でもこれは、あくまで、中2の考えでした。今中3になって、先輩達の気持ちが少し分かります。今の中3も、いやな思いをしている人の方が多いのかもしれない。（私が夏に、自由化活動をしていたら、もしかしたら、コートが、今の中3も着れていたかもしれない）と、今、ものすごく反省しています。

これまで、「コート自由化」するために、いろいろな事を委員会で話し合ってきました。寒い日に、立ってコートの調査をしたりもしました。アンケートの結

果を出したりするのも、なかなか大変でした。そして、コート自由化の案が先生達に認められ、とてもうれしいです。でも、これらの苦労があった事を、附中の生徒は、どれだけ知っているのでしょうか。別に、苦労話を聞いてほしいわけじゃないんです。これらの事があって、コート自由化になった事を知ってほしいのです。つまり、93年度のコート自由化委員の、94年度のコート自由化委員の思いを、今まで自由なコートを着ずに、附中に通っていた人達の思いを、大切に、大切にしてほしいのです。先生や、コート自由化委員が、「コートが自由になった事」を後悔しない様に、節度をわきまえて、楽しくコートを着ていただけたら、うれしいです。

コート自由化に協力して下さった全ての人に、感謝の気持ちでいっぱいです。」

「● ほくは、このコート自由化委員で、約半年間活動をしました。ほくが、この学校に入った中学一年の時に、カハンが自由化になって、あの重いカバンをもう学校にもってこなくていいということで、喜んでいました。だけど、あまり喜んではいけなような気がしました。なぜなら、ほくたち生徒は、学生カバン自由化委員やその担当に当たってくたさった先生がたの努力を知らないからです。コート自由化委員になってその努力が、はじめてわかりました。まだ、コート自由化は、教官会議をとおただけで、PTAの常任委員会をとおっていませんが、ここまで来るのは、たいへんなものでした。

うちの学校は、自由な校風のある学校だとよく聞きますが、その自由というものは、なにをしてもいいというものではないと思います。ほくは、思うに、この自由というものは、何事にたいしても、自由に取りくめるといふものだと思います。たとえば、カバンを自由にしたかったので、カハン自由化委員会ができたり、コートは自由なものが着たかったので、コート自由化委員ができたり、しかも、それが、カバン自由化だったら、自由化になったから、新しいものを買って強制的に持ってこいと言うわけでなく、学生カバンを持ってきたい人は学生カバンを、違うカバンを持ってきたい人は違うカバンを、と言った、自分の意志をはっきりと持って、周りに流されないという意味も含めての自由だと思います。

コート自由化委員が一段落したことで、ほくたち三年生もようやく安心して、中学生生活を修了できます。最後の最後に中学校生活の中で、何かしたという実感がわきました。コート自由化委員は、これからが、本番だとほくは、思います。後輩のみんな、どうぞがんばってください。」

「● 私がこのコート自由化委員に属したのは3年前の中学1年生の時からです。初めは何も考えていなくて、ただなんとなく学校に可愛いコート着てきたいという気持ちからコート自由化委員に参加しました。中1の時は委員会には出ていたものの、何も分からなくて、先輩方がいると思うと大した発言もできなくて……。そんな時、私達に分かりやすいよう話をすすめてくれた先輩がとても印象に残っています。時にはやさしく、時にはきびしく接していただきました。先輩方の活動を見て、尊敬し、中2になってからも委員会を引き継ごうと思いました。中2になってから副委員長という大きな役割をもらいました。その年からコート自由化委員会を正式に広め、アンケート調査や実態調査を行いました。しかしこの年は暖冬でコートを着用するに至らず、なかなか委員会が進みませんでした。中途半端な形のまま今年度に引き継がれるわけですが、今年度、私は何の躊躇もせずコート自由化委員に立候補しました。今年度で中学は終わりだし、ここまでやったんだから今年度中にコートを自由化するぞ、という目標を持って今日までがんばったつもりです。残念ながら私達3年生は卒業するまでに自由なコートを着ることは無理でしたが、ようやくコート自由化を目の前でできたことを最高に嬉しく思います。自由化になった際には、先輩方そして私達のがんばりを忘れないでこの学校の伝統の1つとして伝えていく欲しいです。最後にこの委員会を2年間委員長として支えてくれた大野さんへ、今年度一緒にがんばってきた岩田くん、伊藤くんお疲れ様。そして9人の後輩の皆様、これからもがんばって!」

「● たった半年間だったけれど、良い成果を得ることができました。はっきり言って、自由化には賛成だったけれど、自分で動くのはいやだと思っていました。でも、毎週委員会を開くたびに“今年中に必ず自由化にしてみせる”という希望が生まれました。試行をしたり、意見を取り入れたりと本当に大変なことがありました。試行の注意点、試行結果をクラスで話すたびに文句を言われたりしました。でも、女子だけでなく男子にも共通する事でだんだんみんなが意見を出してくれたり、真剣に聞いてくれたりしてくれるようになってとても嬉しかったです。一時は“無理かな”と思ったりもしました。昨年までは会議に出すことが少なかったのに、今年も進めずに終わってしまうのではないかと心配になりました。でも、3年生の先輩達がこれまでの経験を生かしてリードしてくれたおかげで自由化になることができました。それと先生方にも感謝感激です。

まだ自由化になったことが信じられないけれど、人

のためになることができるとも気持ちがいいです。最後に協力してくれた先生方、賛成してくれた先生方、そして全校の人ありがとうございました。委員会の人達!自分達に拍手をしましょう!ご苦労様でした。」

「● 最初、「自由化委員になりたい人は、いませんか?」って、室長としてみんなに聞いた、が、だれも手を上げてくれない(男子のみ)。先生からは、男女各1名と言われていたので女子1人では、決まらない。しかたなく、私がやることになった…。

やっぱり、実際にやってみると、クラスの間が、なぜ手を上げなかったのかがあらためてわかった。朝早くから、さむいのに、外に30分も立って現状調査を行ったり、みんなからのアンケートの集計をしたり…。とてもつらかった。でも、私たちの案が、生徒総会で可決された時、教官会議で可決された時は、とてもうれしかった。まだコートが自由化になったわけでもないけど、今まで自分がやってきたことがすべて報われたような気がした…。

これからも、自由化委員会の活動を続けて、先生方に、「コートなんか自由にするんじゃないか」と思われぬように、様子を見ていきたいと思っています。」

これらの感想を読むと、生徒達が戸惑いながらも次第に自分達の手で何とかコート自由化を成し遂げようという気持ちが強くなっていく様子がわかる。そして成し遂げた時の喜びを誰もが実感できているのではないだろうか。この過程こそ大切にしたいものである。

## 5 コート自由化に対する保護者の意見

アンケート意見の回収は生徒を通したためか、ほとんどが自由化に賛成のものだった。以下にその一部を紹介する。

- 自由化大賛成です。朝夕通学時コートを着用しないので健康を心配しております。指定コートは着用を好みません。コート着用期間は3カ月余です。手持ちのコートで対応させて頂きたいと思っております。
- コート自由化賛成です。指定コートを買ってあまりにデザインが悪いと普段は着られず、かえってもったいないと思います。
- 登下校の際と校内が同じ服装というのはカゼの原因になるのではないのでしょうか。男子でもコートを着られるようになるのでコート自由化に賛成します。生徒の自主活動を大切にしてくれるのがこ

の学校のよい点だと思っています。生徒を信頼するという学校の姿勢があれば、生徒も自分達の行動に責任を持つようになるでしょう。

- 男子といえども寒さは同じ。厳冬ともなるとコートの必要性を感じます。そして、寒さを感じるはその人の体温（常温）によって違います。従ってコートの自由化は当然ですし、賛成です。
- とても寒い日が続きます。時代に合ったコート自由化賛成です。
- 学生らしく落ち着いた物で自由化にして下さい。色を2・3色（黒・紺・茶）に決め実施していくのがいいと思います。
- 自由化に賛成致します。但し、完全自由化ではなく学生としての節度を保つ為、色くらいの指定はした方がよいのではと思います。
- 中学生は心身ともに未成熟で、自由と規律の自己管理が充分できないように思いますので、学校指定の方がよいと考えます。ただ現在のものは布地が薄く丈も長目ですので、素材をもう少しあたたかいものにし、丈を考慮して頂けたらと思います。

賛成の意見の多くは、もともとコートは自由でよいという考えが反映している。時代の流れという意見もあるように、我慢することが美德であり、学校がそう決めるのならそれに従うという時代でもないと言わざるを得ない。しかし、一方では心身未成熟の中学生に全く自由ということも不安であり、学校のリーダーシップを要請する意見も見られた。今回、回答がなかった保護者が、今後実際に自由化になっていくに時に、どのような考えに至るのか、事後のアンケートも是非実施したいと思う。

## 6 最後に

今後の自由化委員の活動としては

- 生徒総会での経過と具体的内容の説明。（5月実施）
  - 生徒用、PTA用のパンフレットの作成、配付。  
（規定の徹底のため）
  - 現状調査、アンケート調査
  - 点検活動（生活委員会と協力して）
- ということが考えられる。

コート自由化委員会を中心にした3年越しの活動によって、今回コート自由化が実現しそうである。そして、全ての生徒が自由化活動の精神を忘れず、自由なコートを着用してほしい。自由化委員の生徒の感想を皆の共通理解とするには、今後も活動していく必要を

感じる。確かに、コート自由化運動は生徒の自主的活動の場を与えたが、それは一部の生徒であることも事実である。それに関った生徒達は自らの手で得たこの自由を喜び、誇りに思うことだろう。自ら得た自由というものは、やはり自らの手で育み、守るのがこの学校の伝統であってほしい。

## 参考資料

### • 1993年度コート自由化委員

委員長	2B	大野里実	
副委員長	2B	秋山知美	1B 荒川奈美
書記	2B	田中佑果	1B 河野かな恵
	1A	尾崎、碓井、福井	
	1B	木村、佐橋	

アドバイザーとして生徒会役員

### • 1994年度コート自由化委員

委員長	3B	大野里実	
副委員長	2A	中嶋 忍	
書記	2A	中嶋 忍	2B 横井福恵
	1A	遠山、笹野	1B 和田、田村
	2A	鷹見、中嶋	2B 伴、横井
	3A	岩田、秋山	3B 伊藤、大野

生徒会役員 2A 安井  
3B 野村

アドバイザーとして3A秋山知美

顧問 齊藤、高比良、横地

### • 1995年度コート自由化委員

委員長	3B	横井福恵	
副委員長	3A	中嶋 忍	
書記	2A	田村怜子	2B 笹野麻里子
	1A	久野、小懸	1B 科野、片山
	2A	遠山、和田	田村 2B 笹野
	3A	伴	3B 鷹見、中嶋、横井

（※2、3年生は昨年度から継続）

顧問 齊藤、持山

### • 1995年前期生徒総会での自由化委員会の説明内容

このコート自由化は、自由化を認めてもらうのに3年間もかかりました。理由は、自由化にすると派手になったり、盗難の心配があったりと多くの反対意見も出され、なかなか具体案がまとまらず、先生方への説明不足ということもありました。しかし、今回、自由化を認めてもらうことができました。それは、現状調査をしたり、アンケート結果に基づいて意見をまとめ



るなどの活動を積極的にしたこと。そして、みなさんの協力、先生方の理解があったからです。自由化になったのですが、規定が付きます。それは、全く自由だと派手になったり、高価なものになったりして、せっかく自由化されたものも、すぐに中止になってしまう可能性があるからです。

せっかくの自由化を続けるためにも、次の規定を必ず守ってください。「地味な色で、実用的で、だれが見ても中学生らしいコート」地味な色とは黒、紺、グレー、茶、深緑、白、ベージュ。中学生らしいとは華美でないもの。他には、ジャンパー類、ウインドブレイカー、Aラインコート、スキーウェアのようなフードはダメ。ダッフルコートは良い。生地はキルティング、毛皮、皮はダメです。何故無地でなければいけないのかは、学校の品位が落ちる。他校、他人から見ても目立つからということです。

次にコート着用時の置き場所、期間、時間を説明します。置く場所としては、後ろのコート掛けに掛けたり、袋に入れて机の横に掛けたり、椅子に掛けておく。期間は寒い時、原則として12月～3月。時間は登下校時で、授業中、移動教室での着用は認められません。

これからのコート自由化委員の活動ですが、自由化になったからといってすぐになくすのではなく、コートのチェックにつとめたり、改善的処理をしていきたいと思っておりますので、これからもご協力をお願い致します。

(文責 横地 武)